

朝晩の気温差が大きく、寒さを感じる季節となりましたが、あり組の子どもたちは戸外で元気いっぱい遊んでいます。大学の森へ散歩に行くと、広い森の中を「まてまて～」と保育者や友だちと一緒に追いかっこをしてのびのびと体を動かしたり、落ち葉を見つけると、「これ!」「あっぱ!(はっぱ)」等と言って嬉しそうに見せに來たりする姿が見られました。これからも秋の自然を感じながら、心と体をたくさん動かしていきたいと思います。

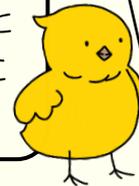
11月は収穫感謝礼拝があります。野菜や果物を実際に見たり、触ったりして秋の実りを神さまに感謝したいと思います。また11月後半からアドベント(待降節)に入ります。イエスさまの誕生の出来事を通して、神さまの愛を感じていきたいと思います。



手を繋ぎ「なべなべそこぬけ」を楽しんでいたAちゃんとBくん。楽しく繋いだ手をゆらゆらさせていたのですが、バランスを崩しお互いにしりもちをついてびっくりしていました。保育者が「痛かったね」と言いながら頭をなでると、それを見てAちゃんとBくんもお互いに頭をなで合う姿が見られました。友だちを思う気持ちが伝わってきて、心が温くなりました。

落ち葉が赤やオレンジへと姿を変え、散歩が楽しい季節になりました。初めて大学構内へ散歩に行った日、緊張して保育者の手を強く握りながらも歩くことを喜んだり、大きな森に興奮してたくさん走って体を動かしたりして、それぞれに楽しむ姿が見られました。森や園庭で探索活動を楽しむ中で、秋の自然を喜ぶ姿もほほえましく、落ち葉に穴をあけてお面のようにすると「おばけだぞー」とおばけごっこを楽しむ姿がとてもかわいいです。今月も散歩や園庭での遊びを通して、深まる秋を子どもたちと見つけていきたいと思います。

11月2日(月)は収穫感謝礼拝があります。お家から持ってきていただいた野菜や果物に触れて、神さまに秋の恵みを感謝したいと思います。また、11月後半にはクリスマスを待ち望むアドベント(待降節)に入ります。神さまの愛を感じながら過ごしていきたいと思います。



夕方テラスに出ると、ひよこ組の子どもたちによるコンサートが開催されます。初めは数名の子どもたちが歌やさんびかを歌い始め「僕もわたしも!」と言わんばかりに次々と肩を寄せ合い、横一列に並ぶ姿がとてもかわいいです。歌をリクエストすると「♪大きな栗の木の下で」などの季節の歌も披露してくれます。子どもたちのかわいい歌声を聴きながら秋の心地よい風を感じられるひと時です。

朝晩は冷え込み、日中も寒さを感じられるようになりました。そんな中でも子どもたちは園庭で元気いっぱい遊んでいます。虫探しを楽しみ、バッタを捕まえると「こんなにおっきいよ」「ここにいたよ」と、笑顔で見せてくれたり、砂場では自分で型抜きをひっくり返して、ケーキやフルーツを作ろうと挑戦したりしています。砂場でそのまま遊びが発展すると、友だちと一緒に落ち葉や実を飾って、料理をする姿も見られました。また、ハロウィンのカボチャ制作では、初めてはさみを使いました。はさみの使い方や約束について話すと、真剣に耳を傾ける子どもたち。そして、保育者にやり方を尋ねながらゆっくりと慎重にはさみを動かす姿が印象的でした。慣れてくると自分で好きな画用紙の色を選んでどんどん切り、「こんなに切ったよ」ととても嬉しそうでした。

11月はさらに気温が下がり冬の訪れを感じることに思います。寒さに負けず体をたくさん動かして遊べるよう、私たちも一緒に楽しみ、見守っていききたいと思います。



りす組では今、「ちゅうしゃごっこ」が流行っています。室内ではブロック、戸外では木の枝などを注射器に見立てて遊んでいます。Aちゃんは「ちゅうしゃしまーす」とブロックで保育者の腕にチクツとした後、「プリンでーす」とご褒美にカップを渡してくれました。また、Bちゃんは木の枝で注射をした後、葉っぱをシールに見立ててチクツとしたところに貼ってくれました。経験した事をそれぞれが思い描く、いろいろな「ちゅうしゃ」で表現し、面白いです。